

1B-6

コンピュータ導入用CAIシステム  
(2) 業種・業態別モデル提案システム

○川島 真人  
協同システム開発株式会社

伊東 直幸  
日本電子開発株式会社

1. はじめに

平成元年度から2年間に渡り、協同システム開発株式会社と日本電子開発株式会社と共同で、通産省、情報処理振興事業協会（IPA）より委託された「中小企業情報化指導支援CAIシステム研究開発計画」の内の「業種・業態別モデル提案システム」を開発している。

中小企業の業種・業態や情報化のレベルは多様化しており、中小企業地域情報センターへの情報化に対する相談が年々増加している。企業経営者（またはコンピュータ導入担当者）の方からの相談内容も業種・業態により多種多様である。

また、情報化に対する意識・価値観の不足や情報化に対する戸惑いを持っておられる企業経営者の方に対して情報化を促進するためには、具体的な情報化の事例を通じて、企業経営者の方にコンピュータ導入に対する理解を深めて頂く必要がある。

そこで、業種・業態別の基本的な情報化のモデル事例を蓄積して、個々の企業に合ったきめの細かい指導を可能とし、中小企業の情報化促進を図ることを目的としている。

2. 全体構成

本コースウェアは、10章より構成されている。各章はそれぞれ業種に対応している。従って、章毎に学ぶことにより、業種毎のコンピュータ導入事例を学ぶことができる。

業種・業態別モデル提案システム

- 第1章 アパレル縫製業
- 第2章 印刷業
- 第3章 プラスチック射出成形業
- 第4章 建築金物製造業
- 第5章 食品スーパー
- 第6章 鋼材卸売業
- 第7章 専門店組織
- 第8章 飲食店
- 第9章 クリーニング店
- 第10章 旅館・ホテル業

図1. 全体構成

3. 学習内容

各章は、それぞれ独立しているもので、どの章からでも学習を始めることができる。各章は概ね次のような内容を含んでいる。

- ①業種は製造業、卸業、小売業、サービス業の4業種を対象とする。
- ②業種に応じた現状分析や業種特有の問題点の指摘
- ③問題点に対する改善点、およびコンピュータ化の必要性
- ④コンピュータ導入の要領、およびポイント
- ⑤実際のコンピュータの導入事例
- ⑥コンピュータ導入によって得られた効果、およびコンピュータの活用方法
- ⑦コンピュータ導入にあたっての留意点

#### 4. 学習効果

本コースウェアは、学習者の理解を助けるために様々な工夫を凝らしている。

##### (1) 親切的な図や表が豊富

できるだけ分かりやすい図解を豊富に盛り込んでいる。

##### (2) 親しみやすいキャラクターの登場

学習者にとって親しみやすいキャラクターが登場する。



図2. 親しみやすいキャラクター

##### (3) 簡単なクイズの出題

学習内容の定着および確認を図るための問題を出題する。

##### (4) 学習の理解を助ける用語集

学習者にとって理解が困難な用語は検索キーワードになっており、さらに詳しい説明が得られる。

#### 5. 動作環境

本コースウェアの基本動作及び動作環境を次に示す。

##### (1) 基本動作

「開講画面」, 「コースタイトル画面」, 「章メニュー」, 「スキップメニュー」, 「節メニュー」, 「節目標画面」, 「教材本体画面」 「節まとめ画面」, 「章まとめ画面」の順に画面が推移する。さらに、教材本体で学習中に現在の位置(ロードマップ)を表示できる。

##### (2) 適用機種

- ① PC-9800シリーズ  
(ハイレゾ, LTを除く)

- ② FMR-50, FMR-60 (要16ビット表示カード), FM16β

##### (3) オペレーティング・システム

- ① 日本語MS-DOS  
Ver. 2.11以降 (PC-9800シリーズ)
- ② 日本語MS-DOS  
Ver. 3.1以降  
(FMR-50, FMR-60, FM16β)

##### (4) 開発ツール

- ① PINE-CAI/II  
(PC-9800シリーズ)
- ② SCHOOL-ACE II  
(FMR-50, FMR-60, FM16β)

#### 6. おわりに

本コースウェアは、「中小企業情報化指導支援CAIシステム研究開発計画」の一環として開発されている。他のサブシステムを次に示す。

- ① コンピュータ導入プロセスCAIシステム
- ② コンピュータ導入診断システム
- ③ コンピュータ導入訓練システム
- ④ コンピュータ導入事例検索システム

これらのサブシステムと協調して、中小企業の情報化を促進することが期待されている。

#### 7. 謝辞

本コースウェアの開発にあたり、通産省、情報処理事業協会の方をはじめ関係者の方々に、数多くのご指導を賜った。心より感謝する次第である。

##### 〈参考文献〉

- (1) 「中小企業情報化指導支援CAIシステム研究開発計画」(ハソフト)
- (2) 「業種・業態別モデル提案システム」(ハソフト)
- (3) 「CAI NEWSLETTER」No. 1 (1990年10月)
- (4) 「中小企業情報化指導支援CAIシステム研究開発について」(第1版)平成元年3月